

事務事業評価

令和3年度

担当課 道路課

基本事項	事務事業名	その他の公園管理経費(千本木地区もみじ等植栽整備事業)				整理番号	1714
	根拠法令等					実施を義務付ける規定	<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし
	関連する市勢振興計画の基本計画	目標	基本目標1 自然と歴史、都市の魅力が調和したまちづくり	予算科目	8 款 5 項 2 目	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 新規	
		施策	施策1-1 自然と歴史、都市機能が調和するまち	事業区分	その他		

事業の目的・実施状況等	事業の背景 (課題、市民の要望等)	噴火災害に伴い千本木地区は現在警戒区域となっていた当地区の良好な景観形成等を目的として平成23～25年度にかけては花暦事業(1300株)、平成26～27年度にかけては造園業人材育成事業(1500株)によりもみじを植栽した。延長は約2.5キロ				計画期間	始期	平成	23	年度から	
	事業の対象 (誰に・何に対して) 目的 (どのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> 多様な魅力溢れる観光地づくりの進展 観光客の呼び水となる火山や温泉等の地域資源を生かし、島原半島ジオパークや温泉を生かしたまちづくりを進めるとともに、集客効果の大きい「花」に注目し、開花期のローテーションを意識した花の植栽をすることで花の名所づくりを推進する。 市民との協働による地域に根付いた管理・運営体制の構築と支援 									
	目的達成のための具体的手段・方法	植栽したもみじの維持と環境悪化を防ぐために、定期的な除草作業と枯れたもみじの補植を行っている。									
	成果指標 (目的達成度を図るものさし)	名称等(内容)		単位	1年度	2年度	3年度				
		①平成23年度島原花暦創出事業 ・もみじ 300株植栽 平成24年度島原花暦創出事業 ・もみじ 400株植栽 ・寄贈もみじ 107株植栽 平成25年度島原花暦創出事業 ・もみじ 500株植栽		目標	株	—	—	—			
		実績	株	—	—	—					
活動指標 (目的達成のために 行った活動実績)	①年2～3回の除草作業と植栽したもみじ周りの除草と枯れた区間の補植を行う		目標	回	3	3	3				
			実績	回	3	2					
	②		目標								
			実績								

事業費等の推移	年度		29年度	30年度	1年度	2年度	3年度	4年度
	区分		実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画
	①直接事業費(千円)			800	744	799	800	500
	財源内訳	国県支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		0	800	744	799	800	500
②従事職員給与費 b1×b2		0	307	301	303	0	0	
従事職員数(人) b1		0.00	0.04	0.04	0.04	0.00	0.00	
職員平均人件費 b2		7,546	7,663	7,530	7,563	7,482	7,482	
事業費合計 ①+②		0	1,107	1,045	1,102	800	500	

【1次評価】

事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
必要性	①社会環境の変化や市民ニーズに照らして、事業の必要性が薄れていないか	A=薄れていない B=一部薄れている C=薄れている 植栽場所が砂防指定地内であるが樹木の管理を行い、もみじの名所づくりを目指し事業を継続する。	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に実施させることはできないか	A=市以外での実施は困難 B=一部民間での実施可能 C=民間での実施可能 植栽場所が砂防指定地内であるが、樹木の管理について可能と考える。	B
	③対象者は事業目的に見合っているか。また、事業を取り巻く時代変化や制度改正など、環境の変化に適応しているか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 市民や観光客が自由に見学できるもみじの名所づくりを目指している。	A
有効性	④成果指標の達成に十分寄与する手法がとられており、結果として目的が達成されているか (成果指標と連動させること A=達成 B=概ね達成 C=未達成)	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない 植栽場所が砂防指定地内であるが樹木の管理を行い、もみじの名所づくりを目指し事業を継続する。	B
	⑤事業効果をさらにあげる余地はないか	A=効果向上の余地はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 砂防指定地内が整備され、自由に立ち入ることができる環境。	A
効率性	⑥事業実施により、費用や業務量に見合った活動結果が得られているか (活動指標と連動させる A=達成 B=一部未達成 C=未達成)	A=得られている B=一部得られている C=見直しが必要 植栽場所が砂防指定地内であるが樹木の管理を行い、もみじの名所づくりを目指し事業を継続する。	B
	⑦必要な活動結果がより少ない費用や業務量で得られる手法に代えられないか	A=現行以上の手法はない B=一部検討の余地がある C=検討の余地がある 育生管理を職員で行っている。	A
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はないか	A=改善の余地はない B=一部改善の余地がある C=改善の余地がある 他の団体と連携し、協働できれば負担が軽減される。	B
公平性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されているか 全体コストから見て受益者の負担割合は適切か 使用料等の見直しの余地はないか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 現在、サービスの提供に向けて事業継続中。	A
	⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要		A
判定評点平均（3点満点） A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			2.60

◎ 総合自己評価（所管部署）		判断理由
評価結果	<input checked="" type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない) <input type="radio"/> B 改善・見直しを行う <input type="radio"/> B1 事業規模の拡充 <input type="radio"/> B2 事業規模の縮小 <input type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し <input type="radio"/> B4 その他の見直し <input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更) <input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)	
今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等) 観光地づくりの進展をめざし、花の名所づくりを推進する継続中の事業であるが、砂防指定地内であり自由に立ち入りができない状況もあり、雑草が繁茂し生育環境の悪化防止のため、年数回の除草作業を行って植栽したもみじを見守っているが、いつまでこの状況が続くかは不明。	
・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載してください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載してください。		

【2次評価】

総合判定	D 廃止
備考	観光地づくりを目指して整備した事業ではあるが、砂防指定地内で立ち入りが制限されており、制限解除の目途もたっていない状況を考慮し、事業廃止を検討してはどうか。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input checked="" type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	-300 (千円)